



河小だより

四日市市立河原田小学校
学校通信 第4号
令和5年 4月21日(金)
文責 校長 鳥居 純樹



令和5年度が始まり約半月が経過しました。1年生も少しずつ学校生活に慣れてきた様子で学習時間、元気に発表したり、集中してプリントに取り組んだりしています。

22日(土)には、今年度初めての授業参観があります。1年生だけでなく、子どもたちは進級して新しい学年、学級で自分の目標を立てて前向きにがんばろうという気持ちに満ち溢れています。子どもたちの様子を参観いただき、がんばっている姿をご家庭でもほめていただければと思います。また今年度の担任の授業をご覧いただき、担任の顔を覚えていただく機会としてください。新型コロナウイルスの感染症状は収束しつつありますが、感染対策のため、2限に分けて参観していただくことにしています。ご了承くださいとともにご協力いただきますようお願いいたします。

河原田礼賛(かわらだらいさん)

「河原田礼賛」という大理石のモザイクが昇降口に展示されています。これは、河原田地区在住だった鈴木田俊二さんが河原田小学校の新校舎改築に合わせて作っていただいた作品です。鈴木田さんは昨年5月に亡くなりました。この4月に名古屋で回顧展を開催されるということで、奥様が河原田小学校に来校され、鈴木田さんが母校の改築に合わせて作られた作品が2年かけて作られたこと、大理石で河原田の四季を表現したかったこと等を教えていただきました。職員玄関には、実際にウイグル自治区に行き砂を集めて作った「タクマラカン」の作品も河原田地区の方から寄贈され飾ってあります。砂の色は50種類以上あるとのことで、「タクマラカン」を見ると何種類もの砂を重ねて作品を作っていることがわかります。

河原田地区を愛し、河原田小学校出身の鈴木田さん。機会があれば、子どもたちにもウイグル自治区のことや砂の話、「河原田礼賛」に込められた思いなど聞かせていただきたかったと思いました。

鈴木田さんの本物にこだわり、ウイグル自治区に何度も行かれて砂を集められた話を伺い、インターネットで知ることができない世界があることを改めて感じさせていただきました。これからも昇降口に飾られた「河原田礼賛」を大切にするとともに鈴木田さんのように河原田小学校をいつまでも愛する心を子どもたちにも育てていきたいと思えます。



左は「河原田礼賛」で右は原画です。河原田の春夏秋冬を表した大理石でのモザイク壁画となっています。中央は、河原田地区の方から寄贈された「タクマラカン」のサンドアート



避難訓練

14日(金)給食室から火が出てプロパンガスが爆発したという想定で避難訓練を行いました。放送が入り、子どもたちは防災頭巾を被って、担任の指示に従い素早く避難しました。避難するときには「おはしも」(おおさないははしらないしゃべらないもどらない)を意識して避難経路を通して昇降口前広場に集合しました。

子どもたちが避難して各クラスの人員確認をするまでの時間は、4分38秒でした。昨年度は5分だったので、子どもたちが命を守るために素早く避難できたといえます。災害はいつ何時起きるかわかりません。そんな時に放送をよく聞くこと、命を守るためにどうすればよいのか考えることが大切です。災害は、火災だけでなく、地震や水害など様々なものが考えられます。今起きている状況を把握して素早く逃げるなど命を守る行動ができるようにしてほしいと思います。



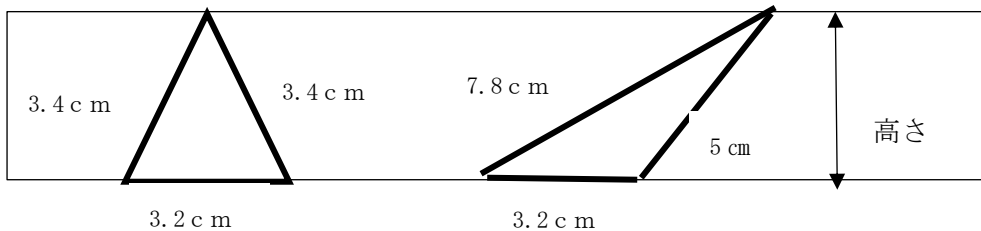
全国学力・学習状況調査

18日(火)に全国の小学6年生、中学3年生が一齐に全国学力・学習状況調査を受けました。本校では、1限目に国語、2限目に算数のテストに取り組みました。問題の内容自体は今までに学習したことから出題されていましたが、問題文が長く、何を聞かれているのか考えながら回答していました。

国語の出題では、コメ作りの問題点とその解決方法について観察カードをもとにグラフや文章からまとめる問題やインタビューをするときに使う敬語について問われていました。

「〇〇さんが(おっしゃった)ことをもう一度(うかがっても)いいですか。」

算数では、30分以上の運動した人数のグラフから「30分以上の運動した日数が1日」に着目してグラフから読み取る問題が出ました。国語と同じように資料から何を読み取るのかという力が問われている問題でした。



また上図の三角形2つの面積を比べどちらが大きいかという問題が出題されました。子どもたちは三角形の面積は底辺×高さ÷2ということは知っていますが、底辺はどちらも3.2 cmです。高さは書いていませんが、底辺から垂直の長さが高さになります。つまり2つの三角形の底辺も高さも同じということですね。公式だけを覚えるのではなく、底辺とは、高さとは何かを理解しておく必要があります。

5年生と6年生を合わせた結果を表しました。

30分以上の運動をした日数と人数
(5年生、6年生)

